

2022.11.1

2022年度 日新火災TALKクラブ 東京第1・東京第2 関東第1・神奈川ブロック 日新モデルパワーアップセミナー 開催！



10月11日、東京第1事業部・東京第2事業部・関東第1事業部・神奈川事業部のファミリー会員が一堂に会し、万全のコロナ感染拡大防止対策を講じたうえでホテルグランドアーク半蔵門に於いて3年ぶりにパワーアップセミナーが開催されました。

ご挨拶

TALK クラブ会長

代表取締役社長 織山 晋

東京ブロック「社長ご挨拶」は[ここをクリック！](#)

パワーアップセミナー開会のご挨拶全文を、是非、ご一読ください。



ご挨拶

TALK クラブ本部会議役員

ほけんプロエージェント

白井 良一 様

皆さま、お久しぶりです。今、織山社長のご挨拶にもありましたが、3年ぶりの開催となりました日新モデルパワーアップセミナー。4つの事業部のファミリー会員の皆さんがこうして集いまして壇上から見渡しますと、とても壮観です。非常に嬉しい限りです。まずは当セミナーを開催に漕ぎつけていただきました日新火災の織山社長はじめ、関係役員、各部署皆さま方、大変なご苦労があったと思いますが、誠にありがとうございます。

さて、今年度、TALK クラブ本部会議では、代理店側の伊豆副会長の発案で新たな取り組みとして、本部会議役員の意見を集約し、会社側と議論を深めております。9月に開催された本部会議も NISSHIN NEWS Plus の最新号に掲載されておりますので、是非、ご一読いただければと思います。セミナー、研修、こちらについても議題にあがりました。本部会議役員の中では対面開催を求める声が大きかったです。もちろん、WEB開催を否定する訳ではありませんが、講師の生の声を聴き、皆で集い語ることが非常に重要なことではないかと私も個人的には対面のほうが頭にも入りますので、賛成です。このようにこうして貴重な場として対面開催のセミナーが開催されたわけですので、これを有意義なものとして真剣に臨み、皆で情報交換や意見交換をしながら、何かヒントを掴み、明日へのパワーアップ、進化の足がかりとしていきたいと思います。我々ファミリー会員が日新火災の売り上げの多くを占めていると聞いています。ということであれば、我々ファミリー会員の成長なくして日新火災の発展はありません。

大きな声では言えませんが、私はいろいろな会社と乗り合っております。が、ここから大きな声で言いますが、日新火災は他社に比べて、最もお客さま本位が行き届いている会社です。なぜなら、シンプルでわかりやすい商品設計、システム、損調体制が整っています。沢山の保険会社と付き合っている私だからよくわかります。ですので、日新火災にはこれからも未来永劫、存続してもらわなくてはなりません。私達が、1%、2%、いやもっとそれ以上、多く増収し、日新火災には日新モデル、お客さま本位をより追及して発展していただきたいと思います。今日、このような場を久しぶりに頂戴したものですから、このような発言をさせていただきましたが、本当に強くそう思っております。最後になりますが、繰り返になりますが、今日、頂戴したこの機会は大切なチャンスとなるのではないかと思います。是非、皆さん、今日一日これからどうぞよろしくお願い致します。

「サイバー攻撃の現状とセキュリティインシデントの防止対策」



一般財団法人 保安通信協会

保安通信部長 羽室 英太郎 様

Profile

警察庁入庁後、警察庁・管区警察局の情報通信関係部署、茨城・石川・奈良県警等で勤務。戦略物資輸出審査官（旧通産省）、警察通信研究センター教授の他、1996年に発足した警察庁コンピュータ（ハイテク）犯罪捜査支援プロジェクト、警察庁情報管理課・旧技術対策課でサイバー犯罪に関する電磁的記録解析や捜査支援等を担当。警察庁サイバーテロ対策技術室長、警察情報通信学校情報管理教養部長、警察庁情報管理課長（警察庁CIO補佐官及び最高情報セキュリティアドバイザー）、情報技術解析課長を歴任。2018年4月から警察庁技術審議官（警察庁情報セキュリティ監査責任者）を担当。現在、一般財団法人保安通信協会保安通信部長を勤める。

主要著書

『ハイテク犯罪捜査の基礎知識』（立花書房、2001年）、『サイバー犯罪・サイバーテロの攻撃手法と対策』（立花書房、2007年）、『情報セキュリティ入門』（慶應義塾大学出版会、初版：2011年、第2版：2013年、第3版：2014年）、『デジタル・フォレンジック概論』（共著：東京法令、2015年）『サイバーセキュリティ入門：図解×Q&A【第2版】』（慶應義塾大学出版会 2022年5月18日発売）他。

「警察に、コンピュータ犯罪、サイバー犯罪対策のための専門部署が無かった頃、警察庁に設置されたプロジェクトチームのリーダーを務め、G8のリヨン・グループ（国際組織犯罪対策上級専門家会合）にも出席し、日本のスタンスの説明等も行いました。

平成13年に、警察庁サイバーフォースセンターが発足した頃は、コンピュータウイルスをバラ撒いているサーバを検知した際に、「おたくからウイルスが送出されていますよ」と連絡しても、「そんなはずはない」と認めずお怒りになる方がほとんどでした。

その後も、警察庁の情報管理課長や情報技術解析課長を命じられていたこともあり、情報システムの防御やサイバー攻撃対策を長年担当して参りました。

現在は、オンラインで保険の申込をされるお客さまも多いと思いますが、SNS等の利用も進んでおりますので、個人情報データが非常に拡散しやすくなっております。皆さまにとってリスク分析や評価（アセスメント）は保険の本来業務ですので、ご堪能であるとは存じますが、お客様情報の取扱いには、くれぐれもご留意頂きたいと存じます。

サイバー攻撃の防止につきましては、監視体制の構築や平素のバックアップ等、システム面での対策も重要ですが、社員への教育やお客様への対応等も含め、トータルにセキュリティを担保できる仕組みづくりも大切です。様々な課題はありますが、セキュリティ対策に必要な事、遵守すべき事項につきましては、是非、イラスト等を用いて、わかりやすく社員やお客様にご説明いただくようお願いいたします。

今後、デジタルトランスフォーメーションが進展して参りますので、お客様や皆さまご自身のセキュリティ対策の徹底を宜しくお願い致します。

講演内容

1. サイバー攻撃等の趨勢
2. サイバー犯罪・サイバー攻撃の傾向 (1)区分 (2)攻撃目標・目的・手法 3 攻撃手法の変化(傾向)
3. サイバーインシデントに対する技術対応体制(警察庁)
4. サイバー攻撃例と対策 (1)「ランサムウェア」の脅威 (2)「EMOTET」
5. サイバーセキュリティと損害保険業務 (1)「セキュリティ確保が必要な場面」 (2)「オンライン」での業務と安全性の確保
6. 課題・サイバー攻撃への備え (1)攻撃対応の課題 (2)情報システムの潮流～クラウド化へ
7. 具体的なセキュリティ指導(例)

閉会ご挨拶

取締役常務執行役員

松岡 正人



皆さん、大変お疲れ様でございます。

冒頭に織山から話がございましたとおり、このセミナーは2か月延期させていただきましたが、本日、無事に開催に漕ぎつけることができ、一安心しております。また、こうしてこれだけ多くの代理店の皆さんにお集まりいただき感謝しております。ありがとうございます。

今日の羽室さんの講演はいかがでしたでしょうか。ご自身のこれまでの犯罪捜査のご経験や最新のサイバー攻撃の実態などをお話いただきましたが、その中で私は1つ思い出したことがあります。お話に出てきた地下鉄サリン事件です。当時、私は被害を受けた千代田線の電車の1本か2本、後ろの電車に乗っておりましたので、羽室さんのお話をお伺いしている時、もしかすると私も巻き込まれていたかもしれないことを思い出し、胸にぐとくるものがありました。

さて、本題のサイバー攻撃ですが、羽室さんが仰られましたように、多くの方々には「これはテレビの中の世界、ニュースの中の世界であり、自分自身には関係ない」と思っている方もおられるかもしれません。そこで、当社がこの1月から6月の間にどういったサイバー攻撃を受けたかという統計データをこちらに来る前に調べてまいりました。まず不正通信です。業務と無関係のメールですが、送られてきた件数は月200万件から300万件あります。次にウイルスが仕込まれたメール。これは平均すると毎月20万件から30万件送られてきております。それから大量通信攻撃。すなわち、沢山のメールを送りつけてサーバをパンクさせようとする攻撃が月2000件ほどありました。

幸い、当社のシステム部門がしっかり対策を取っておりますので、すべてブロックし実際の被害には至っておりません。しかし、これが我々が直面している現実です。当社と代理店の皆さんとは事業やシステムの規模は違いますが、置かれている環境は全く同じです。決して他人事ではありません。今日、皆さんにお願いしたいのは、羽室さんのお話にもありましたとおり、是非皆さんの業務環境を今一度、見直していただき、打つべき手をしっかり打っていただきたいということです。どうぞよろしく願います。

それから、もう1つお願いがございます。私は社外広報も担当しております。毎週火曜日、夜11時から日本テレビ「news ZERO」、有働由美子キャスターが出ているニュース番組ですが、こちらに当社のCMを出しております。30秒1本だけですが、このセミナー開始前に皆さまにモニターでご覧いただいたスポーツライミングの動画を使用しています。ご都合のつく方は、是非、ご覧いただければと思います。以上を持ちまして私の閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。